

現地農業情報（沖永良部島・与論島）令和4年6月

1 畑かん営農推進協議会総会と畑かんマイスター委嘱状交付式開催（R4.6.13）

6月13日、知名町フローラル館にて沖永良部島畑地かんがい営農推進協議会総会が開催され、委員と幹事、畑かんマイスターなど約30人が参加しました。

総会では、昨年度はコロナの影響により活動が計画通りにできなかったことから、今年度は積極的な活動に取り組むことが申し合わされました。総会后、畑かんを積極的に活用している農家から、今年度新たな2人を含めた7人が「畑かんマイスター」として委嘱されました。

今後とも関係機関と連携して畑かん営農の推進を図っていきます。



2 新規飼料作物「トランスバーラ」の現地研修会を開催（R4.6.22）

6月22日、与論町のトランスバーラ実証展示ほで近隣の畜産農家を対象に自給飼料現地研修会を実施し、約30人の参加がありました。

参加者は6月9日に植え付けた苗を見ながら、土を十分に鎮圧し、水分を保たなければ活着しないことを学ぶとともに、他牧草との見分け方、今年度発生が確認されたローズグラス褐点病の実物による説明に大変興味を持っていました。

研修会後は、トランスバーラのセルトレイ苗配布も行ったので、今後栽培面積の拡大が期待されます。



3 スプレームスマートフラワー実証の評価を秋田・山形で行う（R4.6.15～16）

沖永良部花き専門農協は、加工業者や花屋のゴミ削減と流通コスト低減が期待できるスプレームのスマートフラワー（長さを通常より10cm短くし35cm脱葉した規格）実証に取り組み、6月15～16日に秋田・山形の市場や加工会社で評価を行いました。

今回の実証では、コスト低減できる出荷箱の耐久性を確認でき、スマートフラワーの切り花品質、脱葉の取組は高く評価されました。

今後もさらにスマートフラワーの普及促進の支援を継続していきます。



4 与論島の指導農業士会主催の現地就農トレーナー研修会でソリダゴ生産者が病害虫対策や輸送事例等を学ぶ（R4.6.22）

6月22日、与論町役場で指導農業士会主催のソリダゴ研修会を開催し、生産者、関係機関を含めて10人が参加しました。

与論島の重要病害虫であるコナジラミ類や赤さび病等の対策、沖永良部の鮮度保持シートを活用した横箱輸送やバガスをマルチ被覆した品質改善対策の事例を紹介したところ、積極的な質疑や活発な情報交換をすることができました。また参加者は県外の輸送事例についても大変興味を示しました。

今後も現場のニーズにあった研修会を実施します。



5 与論町で家族経営協定の締結が進む（R4.6.17）

6月17日、与論町で畜産農家1戸の家族経営協定調印式を開催し、役場、農業委員会など8人が参加しました。

後継者の就農に伴う親子間の協定で、アニマルウェルフェアを取り入れた「家畜と人にやさしい農業」、「地域に根ざした経営」を目標とし、経営主、後継者の双方の意志が尊重された内容が盛り込まれました。

沖永良部管内では令和元年から毎年1戸締結が行われており、与論町では昨年も耕種農家が締結しています。

今後も家族経営協定の推進を通してよりよい農業経営に繋げるよう支援を行っていきます。

